

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		廃棄物処理施設整備事業					
事業の概要	<p>町内から排出される一般廃棄物を処理する廃棄物処理施設を、最良の状態に維持管理し、効率的な運用を図るものである。今回、埋立地から外部への汚水侵出を防ぎ、水槽内を適正な状態に保つなど、適正な汚水処理を行うことにより、周辺環境の維持保全と円滑な施設運営を図るものである。</p> <p>&lt;野田川最終処分場保全工事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遮水シート破損修繕工事</li> <li>・脱窒槽水中攪拌機修繕工事</li> </ul> <p>&lt;加悦処分場汚泥移送ポンプ設置工事&gt;</p>						
	事業期間	平成20年度					
	総事業費	6,197	本年度事業費	6,197	交付金交付額	3,098	
事業評価	事業の必要性	町内から排出される一般廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔に保全するため、廃棄物処理施設は、常に最良の状態に維持管理し、効率的に運用しなければならない。					
	事業の有効性	埋立地から外部への汚水侵出を防ぎ、また、水槽内では汚染物質除去の働きをもつ微生物の適正な生育が保たれるなど、円滑な施設運営が図られる。					
	事業の効率性	埋立地からの浸出水の処理工程は、有害物質の漏出を防ぐため極めて重要な過程であり、適正な汚水処理を行うことにより、周辺環境の維持保全が図られる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		適正な汚水処理を行うことにより、周辺環境の維持保全が図られ、地元住民の安心・安全な暮らしの維持に寄与する。					
3 リーディング・モデル成果							
4 広域的波及成果							
加悦処分場の浸出水処理施設については、その性質上機器トラブル等が発生しやすく、処置に時間と経費をつぎ込まざるを得なかったが、本事業により、汚泥を脱水機を通さず直接埋立地に送り返すことができ、円滑な施設運営と作業の効率化が図られる。							
5 行財政改革に資する成果							
遮水シートの損傷は拡大すると相当の費用を要することとなるため、異常を早期発見・対処することで、より少ない財政負担で最終処分場としての機能の確保に資する。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。